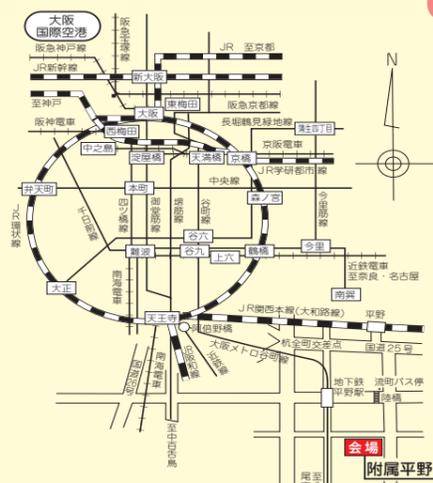




会場へのご案内



○大阪メトロ(谷町線)平野駅(出口5番)より7分(徒歩)
○JR関西本線(大和路線)平野駅より南へ25分(徒歩)

※駐車場がございませんので、お車での来校はご遠慮ください。

参加費(資料代)

無料

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等への対応

※大人を対象にした新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等による大阪市の集団自粛要請、大阪教育大学の臨時休業要請がない場合は、予定通り研究会を実施します。ただし、学級閉鎖のために生徒が登校できない学級がある場合はあらかじめご了承ください。なお、研究会の実施の有無につきましては本校ホームページでお知らせしますので、随時ご確認ください。

お知らせ

お申込み方法 以下の URL または QR コードにて、お申込みください。
(当日の参加申し込みも受け付けます)

大阪教育大学附属平野中学校 HP の申し込み専用ページ

URL <https://forms.gle/ztX1JqY3uf84wf65A>



お問い合わせ先 大阪教育大学附属平野中学校(研究主任 森岡 輝次)

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-24 TEL 06-6709-9600 FAX 06-6709-9601

URL <http://www.hirano-j.oku.ed.jp/>



令和6年度 大阪教育大学附属平野中学校

研究発表会のご案内

日時 令和6年11月2日(土) 9:00 ~ 12:40

会場 大阪教育大学附属平野中学校

研究主題 『かわり』『つむぎ』『おりなし』『つくる』ことのできる
生徒の育成をめざして(1年次)



ごあいさつ

大阪教育大学附属平野中学校の今年度の研究発表会では、研究主題を『「かかわり」「つむぎ」「おりなし」「つくる」ことのできる生徒の育成をめざして(一年次)』としました。この研究主題は、本校が今年度から掲げた新しい学習目標「かかわり、つむぎ、おりなし、つくる力を育む」に重なります。

「かかわる」力とは、学校での学習や日々の生活において「いつ・どこで・だれが・だれと・どのようにして」かかわる」のか、生徒一人ひとりがこのことを意識し、考え、活動することから生まれると考えています。そして様々な手法で知識や情報を幅広く繋ぎ合わせることで「つむぎ」、多様な他者と協力して厚く組み合わせながら「おりなし」ことで、複雑さを増す時代のなかでこれからの社会を豊かに「つくり」あげていくことのできる人材育成をめざしています。

このことを踏まえながら、創意を凝らした各教科の授業に加え、本校が長年にわたり取り組んでいる探究プログラム「STEP」の授業をご覧いただき、授業実践を皆様と共有しつつ研究協議を通してさらなる展望を拓きたいと考えています。ご多忙のこととは存じますが、多数の方々にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

大阪教育大学附属平野中学校 校長 石橋 紀俊

時程 受付は中学校玄関前で行います。



公開授業① 9:00 ~ 9:50

教科	学年	研究テーマ (授業名)	授業者	場所
体育	2年1組	E球技「バレーボール」	吉村 玲	2Fアリーナ
技術家庭科	2年2組	技術分野:「生活を豊かにする木工作品製作」 家庭分野:「伝統製法とこれからの食生活の融合」	吉川 喜久 今治 麻衣子	木工室 調理室
音楽	2年3組	場面に応じた音楽の創作	大森 朝代	音楽室
国語	3年1組	『握手』井上ひさし	今井 博登	3年1組
社会	3年2組	少子化について	堀口 健太郎	社会科教室
数学	3年3組	相似な図形 表面積の比・体積比	狩屋 壱成	3年3組



研究協議 10:10 ~ 11:40

教科	指導助言者	研究協議場所
国語	大阪教育大学 教授 住田 勝	3年1組
数学	大阪教育大学 教授 東尾 晃世	3年3組
社会	大阪教育大学 教授 手取 義宏	社会科教室
音楽	大阪教育大学 准教授 山畑 誠	音楽室
技術	大阪教育大学 教授 永富 一之	木工室
家庭	大阪教育大学 教授 大本 久美子	被服室
体育	大阪教育大学 教授 吉田 雅行	3年2組

公開授業② 11:50 ~ 12:40

教科	学年	研究テーマ	発表者・授業者	場所
総合	第1学年	附中をかえるのは私たちだ！ ～よりよい学校づくりについて考える～	発表者 水野 佳那子	国語教室
			授業者 森岡 輝次 正木 孝典 狩屋 壱成 井上 純子 中村 勇貴	1年各教室

引き続き14:00より大阪教育大学附属平野五校園〔幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校〕の共同研究発表会(会場:大阪教育大学附属平野中学校体育館アリーナ)を開催します。ぜひご参加ください。

共同研究主題 **「新しい社会を創造する子ども一人ひとりの育成をめざした教育課程の実施と教育評価(1)」**
～「かかわる」ことを通して～

研究の経緯

本校では昨年度まで「自ら気づき、深め、創造する力を育む ～新たに世界を捉え、新たな世界を拓く学びの実現～」として、3年間研究に取り組んできました。

今年度はこれまでの研究を受け継ぎ、新たに研究主題を『「かかわり」「つむぎ」「おりなし」「つくる」ことのできる生徒の育成をめざして(1年次)』とし、教員全体で研究を進めております。多くの情報が溢れる環境や、日々刻々と変化する社会情勢・生活状況のなかで、自らの歩みを進めるために必要なこととして「学び続ける」ことの重要性が指摘されています。「かかわり、つむぎ、おりなし、つくる力」はこのように未来を生きていくうえで必要な基礎基本の力であると考えています。そして、この4つの力を着実に育むことによって、自分をそして他者を大切に思い、尊重することのできる生徒の育成を目指し、研究に取り組んでおります。

しかしながら、まだまだ不十分な点も多く、研究を推進していく上での課題も山積しております。そこで研究発表会を開催し、参加された方々から様々なご意見を賜りたいと考えております。研究発表会当日は各教科の公開授業、研究協議を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。